

受入先	南九州市観光協会
役職	
隊員氏名	青木健太郎
着任日	令和3年1月1日

活動月	令和3年8月（着任1年8カ月目）
主な活動	観光協会での情報発信

1. 川辺ダム周辺を探索しました

南九州市と鹿児島市を結ぶ南薩縦貫道沿いにある川辺ダム。普段は通り過ぎてしまいがちなスポットですが、**これこそ隠れた観光資源では…**と思っていたところ、大学時代の友人から**ダムカード**なるものがあると聞き、どのようなものか気になり訪れてみることにしました。



ダムの事務所は普段閉まっているようですが、玄関口で電話をすると空けてもらえます。受付票に来訪地と名前を書くと、ダムカードがもらえます。担当の方にお話を聞いたところ、ダムカード集めに全国からお客さんが来ているものの地元からの認知度はいまいちとの事。（実際に私の上には県外からの来訪者の履歴がずらりと。）

せっかく県外からのお客様が立ち寄るスポットです。ここの立ち寄りだけに留まらず市内への観光を促進できるような、もしくは市内へ観光で訪れた方が川辺ダムにも立ち寄って頂けるような見せ方・魅せ方を考えていきたいと思います。

2. インターン学生とともに、サイクリング体験を行いました

南九州市地域おこし協力隊活動報告書

鹿児島国際大学の学生さん 2 名が南九州市のインターンシップへ参加され、商工観光課受入の際に同行させて頂きました。
観光協会・市役所が共同で整備を進めているシェアサイクル事業のモデルコースを有菌さんに引率頂きながら体験しました。



武家屋敷から豊玉姫神社を經由して特攻平和会館までの、およそ 30 分のルートでした。目的地から目的地への移動中の広い空や田んぼの光景なども都心部から来られるお客様にとっては珍しく・心身ともにリフレッシュできるものだと実感しました。私も東京のオフィスで働いていたときは「久しく空を眺めてないなあ」とぼんやり考え、寂しくなっていました。

南九州市を訪れる観光客数は定量的に観測できますが、今後は「あなたなりの南九州市の楽しみ方」のような定性的な観察 = 旅行者はどのような点に注目し、満足しているかを感じているかという点にフォーカスしながら今後の観光素材を考える必要があると認識するきっかけになりました。

3. 引き続き、地紅茶サミットのご支援をしています

2021 年の開催が翌年へ延期となった地紅茶サミットですが、来年の開催へ向けて特典付きチケットの販売へと動き出しています。

引き続き、チケットのデザインや特典画像の撮影などでお手伝いしています。制作物はまだ仕上がっていないため、来月の活動報告書でまたご報告できればと思います。

英国館さんへ打ち合わせで伺う度に、毎度異なる種類の紅茶を試飲させてもらっています。ようやく紅茶ごとの特性が掴めるようになってきて、楽

南九州市地域おこし協力隊活動報告書

しくなってきました。これが沼。

写真はべにひかりのアイスティー。秋の日差しを感じられる日に、風によって訪れる落葉の香りとともに楽しみたい1杯です。

